

各地の状況

北海道



北海道の景況は、個人消費、設備投資が持ち直したものの、平成 30 年北海道胆振東部地震の影響により、生産活動、観光が弱含むなど、**弱含む**。

個人消費は、地震の影響による購買意欲の低下から乗用車販売が減少したものの、防災用品や食料品を中心に大型小売店販売が増加するなど、持ち直しの動き。**住宅建築**は、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少するなど、減少傾向。**設備投資**は、観光客受入態勢強化や市街地再開発に向けた投資着工がみられるなど、持ち直し。**公共工事**は、国、道、市町村が減少するなど、減少傾向。**輸出**は、ホタテガイが増加したものの、原動機、自動車部分品が減少するなど、足踏み。

生産活動は、地震に伴う停電により製造業全般が減少するなど、弱含む。**観光**は、地震の影響により、国内客・外国人客ともに減少するなど、やや弱含む。**雇用**は、有効求人倍率が上昇するなど、回復。

先行きは、地震災害の影響が懸念されるものの、緩やかに持ち直すとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢

(注) 景況判断の文言は、会員銀行からの報告をもとに当協会で行きまとめたもの。